藤崎町洪水ハザードマップ
【藤崎地区】

洪水ハザードマップについて

この地図は、岩木川水系の岩木川・平川・浅瀬石川が、想定し得る最大規模の大雨（岩木川流域の24時間総雨量 279mm）に伴う洪水により河川が氾濫した場合に、浸水が予想される範囲とその深さ、避難所等を示しています。

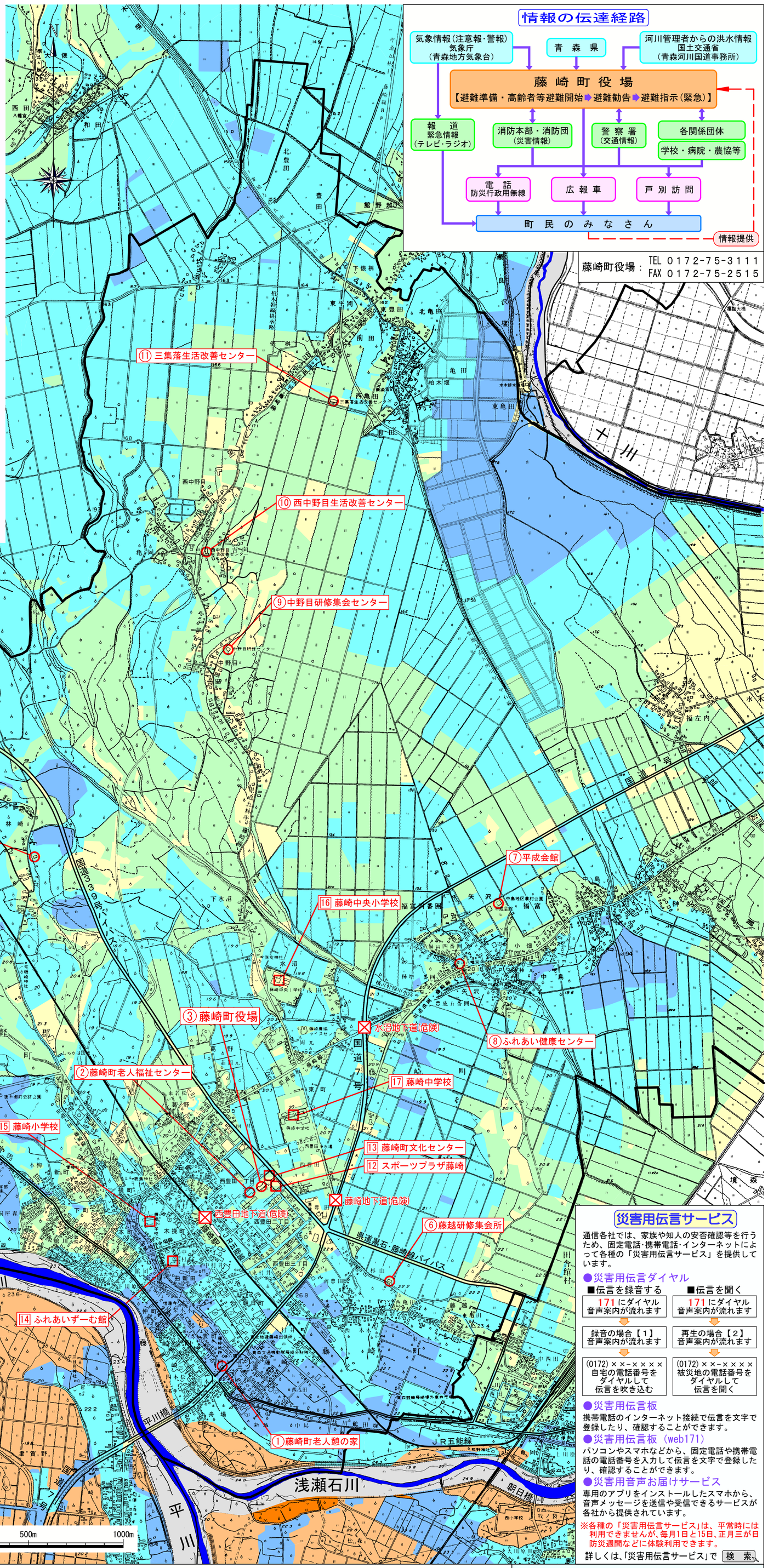
大雨のときに、常にこの地図のような浸水が発生するというものではありませんが、町から避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)等が出る場合もありますので、情報には十分注意を払いましょう。

「いざ」というときに備えて、日頃から様々な事態を想定して家庭で話し合い、避難所や避難経路、緊急の連絡先を決めておきましょう。

なお、浸水の範囲や深さはあくまで想定であり、雨の降り方によっては、想定されていない区域においても浸水したり、想定される深さが実際の深さと異なる場合があります。

凡　例　［ 浸水深さの色の見方 ］

- 5.0mを超える区域　【３階以上がつかる程度】
- 3.0m～5.0mの区域【２階まで水没する程度】
- 2.0m～3.0mの区域【２階の床面までつかる程度】
- 1.0m～2.0mの区域【１階の軒下までつかる程度】
- 0.5m～1.0mの区域【１階の床上までつかる程度】
- 0.5m未満の区域　【１階の床下までつかる程度】



情報の伝達経路

藤崎町役場：TEL 0172-75-3111
FAX 0172-75-2515

【藤崎地区指定避難所】

○ 一次避難所

災害発生時、または大きな災害が想定される場合に開設します。
まずは、一次避難所に避難しましょう。

番号	町会･地区名	避　難　所	ＴＥＬ
①	舟場・みつや・表町	藤崎町老人憩の家	75-2959
②	西豊田一丁目・二丁目・三丁目 伝馬、舘川町、下町、新町 木挽町、朝日町、仲町、曲新田 本町、横町、葛野、水沼、東町	藤崎町老人福祉センター	75-3232
③		藤崎町役場	75-3111
④	白子、緑町	白子研修集会所	75-2954
⑤	林　崎	林崎研修集会所	―
⑥	藤　越	藤越研修集会所	75-2956
⑦	中島、小畑	平成会館	―
⑧	矢　沢	ふれあい健康センター	75-6050
⑨	中野目	中野目研修集会センター	75-2926
⑩	吉向、亀岡、西中野目	西中野目生活改善センター	75-2935
⑪	俵舛、下俵舛、柏木堰	三集落生活改善センター	75-4936

□ 二次避難所

避難勧告の発令、災害の被害拡大のおそれがある場合に開設します。

番号	町会･地区名	避　難　所	ＴＥＬ
⑫	藤崎地区	スポーツプラザ藤崎	75-3323
⑬		藤崎町文化センター	75-3311
⑭		ふれあいず一む館	75-2288
⑮		藤崎小学校	75-3019
⑯		藤崎中央小学校	75-3303
⑰		藤崎中学校	75-3013

◆わが家のメモ

わが家の避難所	
緊急連絡先	
避難時の持ち出し品	

※家族で地図にも避難所への連絡経路を書き込みましょう。

災害用伝言サービス

通信各社では、家族や知人の安否確認等を行うため、固定電話･携帯電話･インターネットによって各種の「災害用伝言サービス」を提供しています。

●災害用伝言ダイヤル

■伝言を録音する	■伝言を聞く
171 にダイヤル 音声案内が流れます	171 にダイヤル 音声案内が流れます
録音の場合【１】 音声案内が流れます	再生の場合【２】 音声案内が流れます
(0172)××-×××× 自宅の電話番号を ダイヤルして 伝言を吹き込む	(0172)××-×××× 被災地の電話番号を ダイヤルして 伝言を聞く

●災害用伝言板

携帯電話のインターネット接続で伝言を文字で登録したり、確認することができます。

●災害用伝言板（web171）

パソコンやスマホなどから、固定電話や携帯電話の電話番号を入力して伝言を文字で登録したり、確認することができます。

●災害用音声お届けサービス

専用のアプリをインストールしたスマホから、音声メッセージを送信や受信できるサービスが各社から提供されています。

※各種の「災害用伝言サービス」は、平常時には利用できませんが、毎月1日と15日、正月三が日防災週間などに体験利用できます。

詳しくは、「災害用伝言サービス」で 検索

普段からの備え

日頃から避難所への経路・方法などについて家族で話し合いましょう。また、持ち出し品を準備しましょう。

浸水深さや避難所・避難経路を確認

このハザードマップで皆さんが住んでいる場所と浸水の深さを確認しましょう。また、最寄りの避難所とそこへ安全に行くには、どの経路で避難するか確認しましょう。

大雨や台風に備えて家の周りを点検・整備

家の前の排水溝などがつまっていないか確認しましょう。また、家の周りに飛ばされそうなものはないか、屋根のトタンなどは傷んでないか確認しておきましょう。

非常食や持ち出す物などを準備

非常食にはレトルト食品や缶詰など調理が簡単で水もあまり使わないものを選びましょう。
懐中電灯やラジオ、乾電池も忘れず用意しましょう。

一人暮らしの高齢者などには気配りを

自分の家族や住まいだけではなく、地域全体に目を向けましょう。
特に、一人暮らしの高齢者や病気の人たちには、日頃から気配りをしましょう。

避難時の心得

洪水の危険が迫ってきたら、冷静に状況判断しながら、安全な避難に心がけてください。

避難の呼びかけに注意

危険が迫ったときには、町役場などから避難の呼びかけをします。
呼びかけがあった場合には速やかに避難しましょう。

動きやすい服装と2人以上での避難

避難するときには動きやすい服装で２人以上での行動を心がけましょう。
長靴ではなく、動きやすい運動靴などをはきましょう。

歩ける深さは50cm以下

洪水は勢いが強く水深が膝まであると大人でも歩くのが困難です。
水深が深くて危ないようなら高いところで救助を待ちましょう。

水面下は危険

水面下にはどんな危険が潜んでいるかわかりません。
長い棒などを杖がわりにして安全を確認しながら歩きましょう。

避難行動要支援者への協力

高齢者や病気の人には

複数の人で対応しましょう。
急を要するときにはひもなどを使って背負い、安全な場所へ避難しましょう。

からだの不自由な人には

その人に適した方法を確認しましょう。車いすの場合は３人で協力し、階段を上がるときは前向き、下がるときは後向きにして恐怖感を与えないようにします。

目の不自由な人には

「お手伝いしましょうか。」などと声をかけましょう。話かける相手の声が頼りなので、話すときは、はっきりゆっくり大きな声で、誘導するときは腕をかして半歩前くらいをゆっくり歩きましょう。

耳や言葉の不自由な人には

話すときは近くまで寄って相手にまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。口頭でわからないようであれば、紙とペンで、なければ相手の手のひらに字を書いて筆談しましょう。

気象情報の入手

テレビ・ラジオのほか、次のようなサービスも利用できます。

天気予報・台風・大雨情報等一般気象情報

- ■ 気象庁
  ＴＥＬ：１７７（１７７天気予報電話サービス）
- ■ 青森地方気象台
  ＴＥＬ：０１７-７４１-７４５９
  パソコン･スマホからは、「青森地方気象台」で 検索
- ■ 日本気象協会
  パソコン･スマホからは、「日本気象協会」で 検索

土砂災害関係および河川の水位・雨量

- ■ 青森県防災ホームページ
  パソコン･スマホからは、「青森県防災」で 検索
- ■ 青森県県土整備部　河川砂防課
  ＴＥＬ：０１７－７３４－９６６２
  パソコン･スマホからは、「青森県河川砂防課」で 検索
- ■ 青森県河川砂防情報提供システム
  パソコン･スマホからは、「青森県河川砂防情報」で 検索
- ■ 国土交通省「川の防災情報」
  パソコン･スマホからは、「川の防災」で 検索

2018年3月作成